

NEWS RELEASE

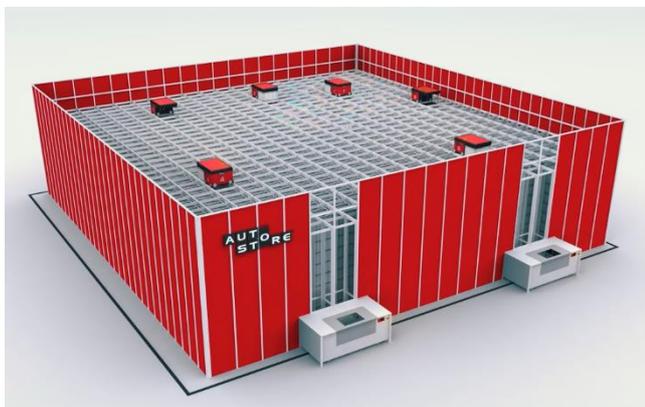
2019(令和元)年 5 月 31 日

報道関係者各位

佐川グローバルロジスティクス株式会社

佐川グローバルロジスティクス、EC 事業者向けプラットフォームセンターを新設 ～東京都江東区にて 2020 年稼働予定の物流センターに最新システムを導入～

SG ホールディングスグループで国内ロジスティクス事業を展開する佐川グローバルロジスティクス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森下琴康）は、東京都江東区において 2020 年 2 月をめどに竣工し、順次稼働を予定している国内最大規模の物流センターにて、EC 事業者向けのプラットフォームセンターを新設することを決定しましたので、お知らせいたします。



株式会社オカムラ：ロボットストレージ
システム「オートストア」



株式会社フジテックス：株式会社ギークプラス
「自動搬送ロボット：EVE」

当社は、SG ホールディングスグループがこの物流センターを核として推進する「X（エックス）フロンティアプロジェクト」において、物流倉庫用の各種設備やシステム、スペースを複数の EC 事業者で共同利用できる「シェアリング・フルフィルメントサービス」を展開します。多額の設備投資を要する最新の設備・システムを複数の事業者で共有することで、より少ない費用負担で EC ビジネスを展開できる利点があります。

さらに、センターは首都圏と国内各地を結ぶ物流ネットワークの重要拠点となることから、都内の好立地にあるハブセンターとしての強みを活かし、センター内に中継センター機能を置く佐川急便株式会社と SGH グローバル・ジャパン株式会社と連携した輸送体系の整備が可能となり、SRC（佐川急便の営業所と直結した物流施設）機能によるカットタイム・顧客受注時間の延長や輸送品質の安定化を実現できます。将来的には、当日配送（即配）やリードタイム短縮、コンビニ配送の拠点化も見据えています。

現在、物流業界は人件費の高騰や配送会社による運賃の値上げなどで物流を取り巻く環境も厳しさを増していますが、当社は今後も顧客ニーズに合わせた拠点展開と高品質な物流提案の推進により、お客さまとともに進化するベストパートナーを目指します。

<具体的な機能>

① シェアリング・フルフィルメントサービス

⇒「荷物の保管」「梱包」「搬送」の各業務において、業界最先端のロボットや IT（情報技術）機器を導入し、作業効率を従来のロジスティクス業務と比べて約 20%向上を実現します

⇒作業効率の向上に伴い、現場での約 20%の省人化が可能となるほか、作業時間の短縮にも貢献します

② 極限まで高い輸送品質の安定度を追求したシステム

⇒①の過程で仕分けした荷物は佐川急便（国内）、SGH グローバル・ジャパン（海外）

のプラットフォームとの連携により、国内 EC 市場はもちろん、近い将来の拡大が予想される域外 EC にも対応できる配送サービスを実現できます。

<物流センターの概要>

- ・所在地 東京都江東区新砂 2 丁目 3、3 丁目 3
- ・アクセス 東京メトロ東西線南砂町駅 徒歩 4 分
- ・規模 鉄骨 7 階建て
- ・延床面積 171,315 平方メートル
- ・竣工予定 2020 年 1 月末

*SG ホールディングスグループ

純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外郭団体が構成

報道関係お問い合わせ先
佐川グローバルロジスティクス株式会社 総務部広報課
TEL:03-3768-8501 FAX:03-3767-1845